



All Nippon Michi-no-Eki Network

Press Release



平成29年4月21日

全国「道の駅」連絡会

平成 28 年度「道の駅」と大学との連携の実施結果及び 平成 29 年度就労体験型実習への参加学生の募集について

全国「道の駅」連絡会（会長 本田敏秋遠野市長）では、地域の観光資源と魅力が集まる「道の駅」を観光振興や地域づくりを学ぶ学生の実習の場として活用する取組を進めています。

平成 28 年度では、「道の駅」にて夏期休暇等を利用した就労体験型実習で 22 大学 48 名の学生が、通年の授業の中で商品開発等を行う連携企画型実習で 37 大学の学生が実習を行いました。これらの結果について、全国「道の駅」連絡会のホームページで紹介をいたします。（URL：<https://www.michi-no-eki.jp/college>）

「道の駅」と大学との連携により、「道の駅」側からは学生による新たな発見がある、若者の視点による商品が開発できるという声があり、大学側からは「道の駅」が具体的な実践フィールドとしての活用ができる等、双方から評価を得ていることから、平成 29 年度以降も本取組を継続してまいります。

なお、平成 29 年度の就労体験型実習につきましては、7～9月の夏期休暇中の実施に向け、4月中旬に参加学生の募集を開始します。新たに参画をご検討されている大学におかれましては、下記の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

問い合わせ先：

全国「道の駅」連絡会 事務局 中竹 優樹、須田 貴子、一守 由紀夫

〒135-0042 東京都江東区木場二丁目 15 番 12 号 MA ビル 3 階

（一般財団法人日本みち研究所内）

TEL：03-5621-3188 FAX：03-5621-3177

「道の駅」と大学の連携について

- 「道の駅」における大学との連携、受入体制を整備し、若者の実習や交流の場として活用。
- 地域の魅力の集まる「道の駅」と、観光学等を学ぶ若者の交流により、**新たな価値の創造**を図り、観光・地域づくりを担う**将来の人材育成**や**地方創生**にも寄与。
- 就労体験型と連携企画型の2タイプを実施。

実施イメージ



※全国「道の駅」連絡会と国土交通省が連携して双方のニーズをマッチング

実施のメリット

<大学のメリット>

- **道の駅は、地域の資源が集中**し、地方が直面する課題が明確であり、**学習するフィールドとして最適**

<「道の駅」のメリット>

- **若者ならではの視点**、若者の元気による実行力のある企画の実施
- **SNSや口コミ**などを活用した**情報発信**

就労体験型と連携企画型について

項目	就労体験型	連携企画型
期間	夏期休暇を活用した 概ね2週間 以上の長期宿泊型を想定	通年の授業 の中での通いを想定
受入学生	全国 の大学を想定	道の駅 近傍 の大学を想定
受入人数	学生個人単位	ゼミ単位 (少人数~10名程度のグループを想定)
スケジュール	<p>基本協定の締結 → ~4月 大学への受入「道の駅」の提示 → 4~5月 学生の派遣希望聴取 → 学生と「道の駅」のマッチング → 7~9月 就労体験実施</p>	<p>大学、「道の駅」のニーズ把握 → 大学と「道の駅」のマッチング → 調整が整い次第、実習実施</p>

平成28年度における就労体験実績（「道の駅」・大学）

平成28年度夏期 就労体験型実習：全国28箇所の「道の駅」で22大学48名の学生が実習

道の駅名	都道府県	大学名		道の駅名	都道府県	大学名	
さるふつ公園	北海道	稚内北星学園大学	3名	すずなり	石川県	岡山理科大学	1名
なみおか	青森県	青森大学	1名	ななもり清見	岐阜県	中部学院大学	2名
のだ	岩手県	岩手県立大学	2名	奥伊勢おおだい	三重県	名古屋外国語大学	1名
雫石あねっこ		岩手県立大学	1名	かなん	大阪府	和歌山大学	1名
遠野風の丘		帝京大学	1名	紀ノ川万葉の里	和歌山県	大阪観光大学	1名
ばんだい	福島県	立教大学	1名	風の家	岡山県	岡山理科大学	1名
さとみ	茨城県	茨城キリスト教大学	3名	笠岡ベイファーム		倉敷芸術科学大学	1名
かつら		茨城県立農業大学校	2名			岡山理科大学	2名
もてぎ	栃木県	跡見学園女子大学	5名	来夢とごうち	広島県	岡山理科大学	1名
中山盆地	群馬県	淑徳大学	2名	願成就温泉	山口県	青森中央学院大学	3名
		帝京大学	1名	公方の郷なかがわ	徳島県	岡山理科大学	1名
とよとみ	山梨県	江戸川大学	1名	「おおむた」花ぷらす館	福岡県	岡山理科大学	1名
こすげ		帝京大学	1名			九州産業大学	1名
上田道と川の駅	長野県	帝京大学	1名	大津	熊本県	九州産業大学	1名
		鈴鹿大学	1名	原尻の滝	大分県	日本文理大学	1名
雷電くるみの里		帝京大学	1名	都城	宮崎県	長崎県立大学	1名
	長野大学	1名					

平成28年度における連携企画実績（「道の駅」・大学）

平成28年度 連携企画型実習：全国38箇所の「道の駅」と37の大学で実施

道の駅名	都道府県	大学名	道の駅名	都道府県	大学名
なみおか	青森県	弘前大学	砺波	富山県	富山国際大学
いまべつ	青森県	青森大学	ウェーブパークなめりかわ	富山県	富山国際大学
あ・ら・伊達な道の駅	宮城県	石巻専修大学	すずなり	石川県	金沢星稜大学
安達	福島県	福島大学	賤母	岐阜県	名古屋外国語大学
常陸大宮	茨城県	茨城大学	紀宝町ウミガメ公園	三重県	鈴鹿大学
ひたちおおた	茨城県	いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム	竜王かがみの里	滋賀県	滋賀短期大学
どまんなかたぬま	栃木県	佐野短期大学	近つ飛鳥の里・太子	大阪府	京都精華大学
はが	栃木県	文星芸術大学	いずみ山愛の里	大阪府	桃山学院大学
もてぎ	栃木県	跡見学園女子大学	かなん	大阪府	大阪市立大学
甘楽	群馬県	帝京大学	但馬のまぼろば	兵庫県	甲南大学
いちごの里よしみ	埼玉県	立教大学	吉野路大塔	奈良県	帝塚山大学
めぬま	埼玉県	立正大学	ふるさとセンター大塔	和歌山県	和歌山大学
果樹公園あしがくぼ	埼玉県	淑徳大学	たからだの里さいた	香川県	香川大学
おがわまち	埼玉県	城西大学	小豆島ふるさと村	香川県	香川大学
鴨川オーシャンパーク	千葉県	城西国際大学	ビオスおおがた	高知県	高知工科大学
とよとみ	山梨県	山梨学院大学	つの	宮崎県	宮崎大学
中条	長野県	松本大学	生月大橋	長崎県	長崎県立大学
あおき	長野県	長野大学	昆虫の里たびら	長崎県	長崎県立大学
ちぢみの里おぢや	新潟県	長岡技術科学大学	みえ	大分県	別府大学

※1 上記大学数は重複数を除いた合計である。

※2 いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアムは4大学とするが、茨城大学は重複しているため※1に基づき合計数は1減としている。

実習概要

- 実習期間：平成28年8月6日（土）～8月12日（金）
平成28年8月17日（水）～8月23日（火）【14日間】
- 実習生：青森大学学生 1名
- 実習内容：①道の駅「なみおか」利用者を対象としたアンケート調査
②駐車場の利用状況の調査
③道の駅利用者を対象に、道の駅についての意識調査

取組状況



<アンケート調査実施状況>



<中間報告会の実施状況>

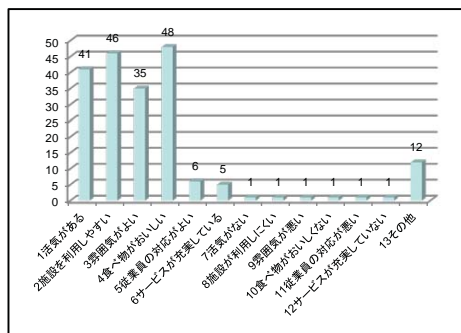


<報告会の実施状況>

実習成果

- ・「道の駅」利用者への調査から、利用者の「道の駅」への印象をデータ化し、提出しました。
- ・駐車場の利用状況の調査を通して、ピークの時間帯と出入庫台数を測定しました。

・「印象」調査結果



・出入庫台数集計結果

日	午前		午後		
	出庫数	入庫数	出庫数	入庫数	
8月18日			14:45-14:50	27	23
8月19日			14:00-14:05	21	24
8月20日	9:40-9:55				
	58				37
8月21日	9:55-10:10				
	51				63
8月22日					
8月23日			13:07-13:22	58	38
8月24日	10:30-10:45		13:23-13:38	38	37
	38	21	46		
8月25日					
8月26日	11:03-11:18				
	26				22
8月27日					
8月28日					
8月29日	10:46-11:01		14:03-14:18	34	32
	31	27			

実習を終えて

- ・「道の駅」が多くの人々に利用される仕組みについて、立ち寄りやすい雰囲気があり、食べ物おいしいなどといった利用者が満足できる条件が揃っているためであるとわかりました。
- ・利用者の声を直接聞くことが出来、印象のほか、他の道の駅のお話や以前の「道の駅」なみおかのお話といった貴重なお話を聞くことが出来ました。

実習概要

- 実習期間：平成28年8月26日（金）～9月9日（金）【15日間】
- 実習生：岡山理科大学学生 1名
- 実習内容：①周辺清掃、店内商品整理などの雑務
②レジ打ちや接客などの業務
③ホームページ作成
④新企画や道の駅改善の提案

取組状況



<店内商品整理の実施状況>



<店内清掃の実施状況>



<レジ打ちの実施状況>

実習成果

■ ホームページ作成

- ・活動時間の半分を利用
- ・使い易さと見易さを重視
- ・様々な情報を取り入れた
- ・社員の方との協力

■ アイデア、企画の提案

- ・漁獲高日本1位の鱧の販売
- ・「風」を売りにしたPR
- ・すだち酒の販売
- ・休憩スペースの整備etc..

・ ホームページ作成の様子



・ 完成したホームページ



実習を終えて

- ・掃除の大変さを実感した

「トイレが綺麗な道の駅は本物」という言葉を社員の方に頂きました。それほどにトイレ掃除を含め道の駅が綺麗であることの大切さを学びました。

- ・ホームページがよりよい情報発信源となるように

ホームページを作成するに伴い様々な情報を調べましたが、皆が知らないような魅力的な情報がたくさんありました。これを機に多くの人に道の駅の魅力を知ってもらいたいです。

実習概要

- 実習期間：平成28年8月12日（金）～8月26日（金）【14日間】
- 実習生：日本文理大学学生 1名
- 実習内容：①現地販売実習
②外国人向けサービス
③新規顧客リピーター開拓の活動
④お祭りイベントの準備支援
⑤現地の販売改善活動

取組状況



＜現地販売実習状況＞



＜外国人向け案内作成＞



＜販売改善の活動実施状況＞

実習成果

- ①現地販売実習
緒方町産の特産物を販売実習を行い、観光客にアピールした。
- ②外国人向けサービス
韓国語のポップ作りや韓国語により案内を行った。
- ③新規顧客リピーター向け活動
外国観光客に緒方町を案内し、町の良さを知ってもらった。
- ④お祭りイベントの準備支援
地元の火祭りに向け地域住民と一緒に準備を行った。
- ⑤現地販売の改善活動
韓国語の案内板を見直し、改善を行った。

インターン活動が地域CATVに放映される。



実習を終えて

実習を終えて、以下のような点を学び感じた。

- ・ 韓国観光客に地域の良さを知ってもらうことができ、国際交流に貢献できた。
- ・ 緒方町の文化に触れ、地域住民との絆ができ、貴重な体験になった。
- ・ 仕事の大変さと地域住民との交流の難しさを理解できた。
- ・ 原尻の滝について調査し、歴史と文化を知ることができた。

実習概要

- 実習期間：平成28年7月16日（土）～7月17日（日）【2日間】
- 実習生：稚内北星学園大学学生 3名
- 実習内容：①さるふつ観光祭りイベント会場の設営・運営・撤収
②「さるふつまるごと館」でのエゾシカ肉ジビエ料理の試食支援

取組状況



<イベントスタッフ顔合わせ>



<特設厨房の設置手伝い>



<さるふつまるごと館顔合わせ>

実習成果

- 地域イベントの裏側を学ぶことが出来ました。
- ・役場・観光協会によるイベントの裏方の苦労を実際に体験した。
- ・ホタテの差し入れや、その他学生に優しくしてくれる猿払村の方々の暖かさに触れた。
- ・多くのお客様と接することが出来た。

・学生による情報発信



・ホタテをごちそうになりました!



実習を終えて

- ・猿払村が好きになりました。
- ・近くに住んでいるのに、大きなお祭りをやっていること知らなかったのが驚いた。
- ・インターンシップなのに親切にしてもらい、猿払村の人たちの温かさを感じた。
- ・イベントを裏方として支えたことは初めてで勉強になった。

道の駅「鴨川オーシャンパーク」と城西国際大学（観光学部）の学生が連携し、道の駅でゆったりとした時間を過ごすための『空間演出』に向けたプロジェクトに取り組みます。

①休憩機能の強化

- ・地魚漁師料理をはじめ、地元食材を豊富に使った食事が楽しめるレストランの魅力を発信する仕掛けづくりの提案



多くのお客様が利用するレストラン

②情報発信機能の強化

- ・広大な敷地を持つ「鴨川オーシャンパーク」の回遊性を高め、海や花など、施設全体を楽しむことができる情報発信の提案



水遊びが出来る「千年磯」は、家族連れにも人気

③道の駅の付加価値を高める

- ・道の駅利用者の満足度を向上させるため、立地環境を活かした「海」をテーマに、新たなイベントを創出



海に面した立地環境を活かし、新たなイベントを創出

【城西国際大学（所在地：千葉県鴨川市）】

城西国際大学は、ウェルネスツーリズム*を目指した実践的な観光学を学びます。特に親身な教育、地元鴨川・南房総でのフィールド地域プロジェクトを通しての実務に強い教育が特色です。

*ウェルネスツーリズムとは、「観光者と住民との協働で生み出される人と地球にやさしい観光」のことです。

ウェルネスツーリズム



【道の駅「鴨川オーシャンパーク」】

鴨川オーシャンパークは、文字通り豊かな自然や温暖な気候に育まれた鴨川の魅力である「海」と「花」を基本テーマに、訪れる人々に憩いとやすらぎのひとときをつくる観光拠点づくりを目指すとともに、地場産業や文化、芸術分野との連携を図ることで、地域の総合的な活性化と交流の場を目的とした海浜型リゾートパークです。



平成28年度 取組み内容：休憩機能の強化

取組み前の調査

- レストランが入る施設内を調査し、入り口からの動線なども確認



- 現状のレストランメニューの課題や改善（案）について、グループ毎に議論



ゆっくりと休憩できる空間は、道の駅利用者にとって、魅力的であるという視点から、レストランの魅力を発信することとしました。

従来のレストランメニューは、小鉢などの商品全体が分かるようになっていましたが、説明的な写真ではなく、商品そのものの魅力を映し出すようなメニュー写真となるよう全て撮り直し、見やすく・選びやすいメニュー看板にリデザインしました。

- リデザインされたメニュー看板をレストラン入り口に設置



- 特産品・地産品の魅力が伝わるよう、メニュー写真を全て撮り直し



- お客様に魅力が伝わるメニュー看板とし、海のイメージが喚起できる特別ボードも作成



平成28年度 取組み内容：情報発信機能の強化

取組み前の調査

- 鴨川オーシャンパークを現地調査し、施設の特徴などを把握



- 道の駅関係者との意見交換



道の駅の入り口に位置する24時間休憩所を情報館化することで、広大な敷地を持つ鴨川オーシャンパークの回遊性を高めることを目指しました。

鴨川オーシャンパークの様々な情報をポスター化し、24時間休憩所に展示することで、情報発信機能の強化を図り、道の駅利用者が施設を有効的に使い、ゆったりと休憩できるよう演出しました。

- 学生が手書きした鴨川オーシャンパークの全体図



- 鴨川オーシャンパークの様々な情報をポスター化し、展示することで、休憩施設を情報館化



- 鴨川オーシャンパーク周辺（太海地区）の観光情報なども展示



平成28年度 取組み内容：道の駅の付加価値を高める

取組み前の調査

- 観光船の発着所となる漁港にて、安全上の注意や役割分担などを把握



- 実際に海をクルーズし、所要時間や運行コース、船上でのガイドなどを確認



新たなイベントを創出することで、鴨川オーシャンパークの付加価値を高め、道の駅利用者の満足度をより向上させることが出来ないか議論を重ねてきました。

太平洋の大海原を眼前にする太夫崎漁港に隣接する道の駅ならではの特色を活かすため、観光船による「鴨川IDEクルージング」を企画し、新しい海の活用方法を提案するとともに、道の駅の付加価値を高めることとしました。

- 学生が作成した「鴨川IDEクルージング」の案内ポスターと乗船券



- 海辺の道の駅の特徴を活かしたクルージングイベントでしたが、運航当日は、強風と高波のため中止。来年度、再チャレンジ！



道の駅「とよとみ」と山梨学院大学の学生が連携し、道の駅で販売する特産物等の多言語型POP広告※の作成や、留学生の視点による外国人観光客向けの観光施設の充実など、道の駅を中央市のインバウンド観光の拠点とするための取組みを行います。

※商品名と価格、キャッチコピーや説明文、イラストを手描きしたもの

- 「道の駅」の実地調査
観光案内所、施設内案内表示及び商品ディスプレイなどの問題点の抽出
- 中央市の観光施設の調査
中央市の「歴史・文化」を学び、留学生の視点で観光地の魅力を発見

反映

- 外国人観光客向けに多言語型パンフレット・POP広告の作成
- 留学生の視点で発見した観光施設の魅力を外国人観光客向けにアピールする改善点の提案

発展

■道の駅を中央市のインバウンド観光拠点に

【山梨学院大学】

山梨学院大学（所在地：山梨県甲府市）は、昭和21年に創立され、日本文化への深い理解と広い国際的視野をもって社会に貢献する人間の育成を目指し、豊かな教養と創造力を備えた人格の形成を図ることを教育理念としています。

学部横断型副専攻として観光・ホスピタリティプログラムを行っており、観光、宿泊、レジャー施設等で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。また、国際交流センターではアジア、ヨーロッパ、アメリカ圏からの留学生との国際交流を図ることで、グローバルな視野を養っています。

【道の駅とよとみ】

国道140号線の中央市の玄関口として緑色の屋根が目印。地元産の土づくりにこだわった野菜・果物等の販売をしている。「平成21年度 全国直売所甲子園」にて優勝。
特産品：とうもろこしワイン、とうもろこし焼酎、スイートコーン、手作りハム・ソーセージ

■道の駅とよとみ
【特産品のトウモロコシを使った焼酎】



■中央市の観光施設
【歴史郷土資料館】



平成28年度 取組み内容：道の駅で販売する特産物について、留学生の視点や感覚で表現した多言語POP広告を作成・表示

取組み前の調査

●「道の駅」特産物の調査



●試食して魅力を実感



●道の駅「とよとみ」特産物等の多言語POP広告

(中国語表記)

(日本語訳)

留学生ならではの視点や感覚を活かし、外国人観光客にも魅力が伝わるような多言語POP広告の作成に取り組みました。

定型的な翻訳ではなく、国によって異なる「魅力の感じ方」にあわせ、表現を工夫しました。



店長オススメのシルクソフトと出会ってみませんか

●道の駅シンポジウムで中間発表



・地元の名産物
・温かくても冷めても美味しい
・真空パッケージ
・収穫の時期は地元の方と一緒に焼トウモロコシ祭りに参加できます



異国の味に不慣れなあなたへ。旅行者に人気のウィンナーをカップラーメンとの組み合わせにどうぞ

長岡技術科学大学の学生が、道の駅「ちぢみの里おぢや」と周辺地域が連携したサービスについて、利用者ニーズを把握し、地域活性化方策を検討



【小千谷市の概要・課題】

小千谷市は、新潟県のほぼ中央部に位置し、日本一の大河・信濃川により形成され、美しい山河に恵まれている。しかし、人口減や高い高齢化率(H26高齢化率30%)といった課題を有し、中心市街地の賑わいが失われつつある。

賑わいを取り戻すため、集客力のある「道の駅」から「街中」への立ち寄りを目指して、取り組みを実施

【取組内容】

- ①道の駅「ちぢみの里おぢや」利用者アンケート調査
- ②アンケート調査結果の分析
- ③道の駅周辺地域の観光・店舗情報、地域特有の情報発信の方法の提案



長岡技術科学大学

長岡技術科学大学は、1976(昭和51)年に設立されました。社会の変化を先取りする“技学”を創成し、未来社会で持続的に貢献する実践的・創造的能力と奉仕の志を備えた指導的技術者を養成する、大学院に重点を置いたグローバル社会に不可欠な大学を目指すことを大学の理念としています。



道の駅「ちぢみの里おぢや」

国道17号沿いに位置する「道の駅」ちぢみの里おぢやは、トイレ、道路情報施設、観光案内所だけでなく日帰り温泉施設も備えており、多くの人が訪れます。

また、道の駅がある小千谷市は、三国峠と新潟市の間に位置し、特産の麻織物 小千谷縮と錦鯉で知られています。



平成28年度 取組内容：地域活性化方策の検討

集客力のある「道の駅」から「街中」へ人の流れを生み出す方法を考え、今後の「道の駅」、「街中」の活性化方法の提案を行う

現地調査

○実施内容

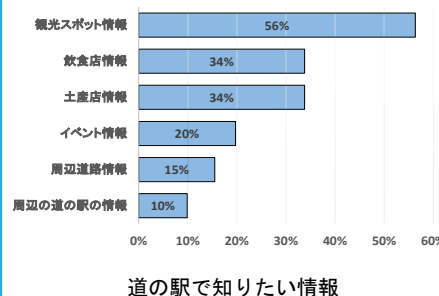
- ・道の駅の利用者にアンケート調査
- ・周辺の飲食店などを訪れてもらうためのクーポン券の配布



「道の駅」利用者アンケート調査

調査結果

- ・男女共に40,50歳以上が半数を占めている 10～30歳代が少ない
- ・来訪者は、市内・県内からが最も多い
- ・利用目的は休憩・トイレが大多数、買い物・飲食が約4割、温泉施設が約1割
- ・観光スポットや飲食店、土産店等の情報を知りたい人が多い



提案・考察

○提案

- ・10～30歳代の来訪者が少ないため、若い層に向けてSNSを利用し、魅力あふれる小千谷をアピールする
- ・地域の観光スポット・飲食店・土産店の情報発信を行う

○考察

- ・地域の観光スポット・飲食店・土産店等の運営者を対象としたアンケート調査の実施が必要
- ・道の駅と周辺地域との連携したサービスを持続的に取り組む検討が必要

国内での訪日外国人が増加したことにより、「道の駅」紀宝町ウミガメ公園では、その対応について苦慮している中、外国人訪問者に対して「道の駅」と大学とが連携して、おもてなしを目的とした情報発信や接客等、施設の内容が簡単に把握出来るための取組を実施。

現地調査による情報収集

- ・観光導線の調査
- ・物産販売所及び食堂の調査
- ・施設の案内及び避難経路の調査



検討

施設の調査状況

現地調査から見える課題

- ・訪日外国人に対しての案内が不十分
- ・外国人の接客にあたり、言葉がわからない。



道の駅駅長と紀宝町との打合せ

対応

取組事項

- ①外国語に対応した館内説明版等の作成
- ②外国人対応シート（英語版）の作成
- ③外国語を通じた「紀宝町ウミガメ公園」の情報発信

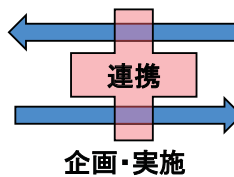


大学紹介

鈴鹿大学は、地域から必要とされる大学を目指した教育研究活動に取り組んでいます。その取組の中で、地方の人口減少と高齢化、地域産業が衰退に向かう現状を肌で感じながら、学生の視点でアイデアを出し、地域に貢献していく力を養っている。



活動の場を提供



道の駅紹介

「紀宝町ウミガメ公園」は、地域の観光情報や地元とれた農産物などの販売等、紀宝町の情報発信場所となっています。近年、外国人の来客が増えたことにより、従業員がその対応に苦慮しており解決策が望まれる。



平成28年度 取組み内容：道の駅のインバウンド対応

①外国語に対応した館内説明版等の作成



従前は、物産館に関する説明の外国語表記がなかった（何の建物かわりにくかった）



館内施設の説明版を英語・日本語で作成



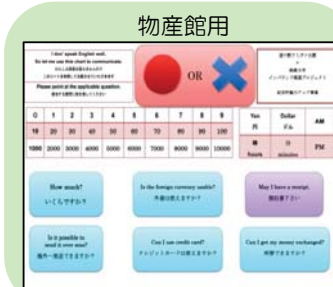
避難経路を英語で表示し、災害時の誘導導線を明示

②外国人対応シート（英語版）の作成



ウミガメプール用

指さして、簡単な会話に対応できるシートを作成



③外国語による「紀宝町ウミガメ公園」の情報発信



Youtube!による動画配信

「道の駅」を紹介する動画を作成



道の駅「かなん」と大阪市立大学が連携して、なにわの伝統野菜の一つである『玉造黒門越瓜（タマツクリクロモンシロウリ）』の機能性（効能）をより効果的にPR！

- 「なにわの伝統野菜」の一つである『玉造黒門越瓜』について、生活習慣病の予防効果とその作用メカニズムを研究
- 研究した結果、以下の改善効果を確認
 - 抗肥満効果
 - アルコール性肝疾患の予防効果

反映

- 現在販売している、玉造黒門越瓜の「ぬか漬け」のパッケージに「〇〇に効果有」等を表記し、体に良いことをアピール。
- 生で食べるサラダや、煮たり炒めたりして熱を入れたときの効能を調べてもらうことで、今後の商品開発に役立てる。

発展

【期待する効果】

- なにわの伝統野菜に高付加価値を与え、生産者と消費者を結びつける手段の構築
- 地域農産物販売促進
- 生産農家の活性化



河南町のカナちゃん

【大阪市立大学】

1880年（明治13年）に開所された大阪商業講習所からスタートし、現在では、8学部と大学院10研究科を要する都市型総合大学で、「優れた人材の育成と真理の探究」を大学の普遍的使命としています。

今回、参画する「新産業創生研究センター」は、大学の普遍的使命に加え、「研究成果を社会に還元し、地域社会ひいては国際社会の発展に寄与する社会貢献活動を第三の使命」と位置づけ、1990年（平成2年）に設置されました。

【農事組合法人かなん】

平成16年4月に道の駅オープンと同時に発足。以来、道の駅内にある農産物直売所施設「河南町農村活性化センター」の管理運営を実施。

モットーは、地域住民や、観光客、そしてドライバーに親しまれる「ふれあい」の場の提供。

主な事業の柱は、「農産物等販売部門」「農産物加工部門」「情報発信部門」。

【道の駅かなん】

パーキングエリアでは、駐車場・トイレ・休憩所・公衆電話等を備え道路案内やくつろぎ、憩いなどのサービスを提供しています。

併設の農村活性化センターでは、地域の農産物や特産物の展示・PRをはじめ、地場産のなにわ伝統野菜・果物・生花及び地元素材を使った、もち、米粉パン、みそ、ジャムなどの加工品などを提供しています。

《平成28年度の取組》

大阪市立大学において、「なにわの伝統野菜」の一つである『玉造黒門越瓜』の生理作用として、生活習慣病予防効果の検討

○抗肥満効果の検討

玉造黒門越瓜の「漬けもん（ぬか漬け）」及び玉造黒門越瓜（生または煮）の各抽出物の抑制作用について、細胞レベルでの抗肥満効果を評価

○アルコール性肝疾患の予防効果の検討

アルコール性肝炎モデルを用いて、玉造黒門越瓜の「漬けもん（ぬか漬け）」及び玉造黒門越瓜（生または煮）の各抽出物について効果検証を実施

《平成29年度の取組》

道の駅「かなん」において、『玉造黒門越瓜』を活用した新商品の開発や効果検証結果をPRした商品販売の実施予定



道の駅「かなん」での販売状況

「なにわの伝統野菜」の基準

- ①概ね100年前から大阪府内で栽培されてきた野菜
- ②苗、種子等の来歴が明らかで、大阪独自の品目、品種であり、栽培に供する苗、種子等確保が可能な野菜
- ③府内で生産されている野菜



道の駅「かなん」で販売している「なにわの伝統野菜」

毛馬胡瓜、勝間南瓜、金時人参、天王寺蕪、田辺大根、玉造黒門越瓜、鳥飼茄子、碓井豌豆、大阪しろな

玉造黒門越瓜とは

大阪府の玉造門（黒門）付近が発祥地。果長約30cm、太さ約10cmの長円筒型。色は濃緑色で、8～9条の白色の鮮明な縦縞がある。

